

令和5年度

学習計画表

(シラバス 1年)

塩濱

四日市市立塩浜中学校

評価及び評定について

(1) 教科における観点別評価の方法について

- ① シラバスに記載されている評価方法に基づいて評価する。
- ② 各評価結果を100%が最高となるように総合到達率を換算し、下の基準表に照らし合わせてABCで表記する。

	総合到達率（目安）
A	80%以上
B	45%以上～80%未満
C	45%未満

(2) 5段階評定の方法について

- ① 各観点が合計100点になるように、基本は年間を通しての観点の重みづけは1:1:1で配分する。
- ② 観点別評価で出した数値をこの配分にしながら再計算して総合し、下の基準表に照らし合わせて総合的な評価として5段階で表記する。

	総合到達率（目安）	数 値 の 意 味
5	90ポイント以上	十分満足できると判断されるもののうち、 <u>特に程度の高いもの</u>
4	80以上～90未満	十分満足できると判断されるもの
3	45 ～ 80	おおむね満足できると判断されるもの
2	20 ～ 45	努力を要すると判断されるもの
1	20未満	一層努力を要すると判断されるもの

参 考 資 料

※評価の観点と評価方法 評価方法として○は適切

評 価 方 法	観 点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態 度
ペーパーテスト	○	○	
パフォーマンステスト	○	○	○
レポ ー ト	○	○	○
ポートフォリオ	○	○	○
実 技 テ ス ト	○	○	○
作 品	○	○	○
み と り	○	○	○
ノ ー ト	○	○	○
自 己 評 価	○	○	○
相 互 評 価	○	○	○

目次（1年）

学習へのアドバイス	・ ・ ・	1 ～ 2
国語科	・ ・ ・	3 ～ 4
社会科	・ ・ ・	5 ～ 8
数学科	・ ・ ・	9 ～ 11
理科	・ ・ ・	12 ～ 14
音楽科	・ ・ ・	15 ～ 16
美術科	・ ・ ・	17 ～ 18
保健体育科	・ ・ ・	19 ～ 21
技術家庭科(技術分野)	・ ・ ・	22 ～ 23
技術家庭科(家庭分野)	・ ・ ・	24 ～ 25
英語科	・ ・ ・	26 ～ 30

学習についてのアドバイス

【授業では・・・】

授業前の準備や授業後のあとかたづけ

- ・忘れ物をせず、チャイムが鳴るまでに授業の準備・準備運動をしておきましょう。授業に使用する道具、資料の確認もしっかりとしておきましょう。
- ・準備や後片付けに積極的に参加しましょう。

授業中

- ・先生の話や友だちの話を集中して聴き、自分の考えをもち、進んで意見を言いましょう。
- ・友だちの意見に耳を傾け、自分の考えと比べながら理解を深めましょう。
- ・分からないことは先生や友だちに自分から質問しましょう。
- ・実験、実習、観察には安全に十分配慮し、手順を間違えないようにし、互いに協力して参加しましょう。

ノートづくり

- ・ノートは丁寧に早く書くようにしましょう。
- ・ノートは、板書を書き写すだけでなく、大事なところ、気をつけたいところ、自分で気づいたことやなるほどと思った友だちの意見をメモしましょう。

【家庭では・・・】

家庭学習の取り組み方

- (1) 毎日決めた時間に机に向かいましょう。
- (2) 机の上は学習用具だけにしましょう。(学習に必要なものは片付けておきましょう。)
- (3) 宿題をその日のうちに必ず家でしましょう。
- (4) 宿題以外の自主学習をしましょう。
 - ① その日の授業で学んだポイントをノートに記しておきましょう。
 - ② 授業で習ったところを教科の問題集などで復習しましょう。
 - ③ 次に習うところを教科書で確認しましょう。
- (5) 提出物は提出日に必ず出すことができるように、計画的に進めましょう。

家庭学習時間の目安

あくまでも目安です。参考にしてください。

- 1年生・・・2時間以上
- 2年生・・・2.5時間以上
- 3年生・・・3時間以上

【各教科より】

- ☆国語・・生活ノートなど文章を書くときには、具体的な内容を入れ、漢字を使うようにしましょう。
- ☆社会・・日頃から地図や新聞、本、ニュースに親しみ、過去や現在のことを調べてみましょう。
学校で話し合ったことを家庭でも話題にし、家族の意見を聞いて考えを深めましょう。
- ☆数学・・分からないことはそのままにせず、いろんな人に質問して解決しましょう。
学習した内容は、その日のうちにもう一度自分で解いてみましょう。
- ☆理科・・ニュースや新聞等から、いろいろな科学技術や自然環境の保全など理科に関することがらについてチェックしましょう。
- ☆音楽・・ジャンルを問わず、いろいろな音楽を聴いたり見たりしましょう。
合唱発表会前には楽譜と練習用音源が配布されます。家でもよく聴いてしっかり練習することが大切です。「合唱練習ノート」でしっかり曲分析や学習しましょう。
- ☆美術・・アイデアは1つだけで終わらず、いくつも発想し、その中からよりよいものを選びましょう。
制作が遅れている場合、先生の許可を得て制作途中の作品持ち帰り、進度を合わせましょう。
期末テストの実技は必ず時間を計測して練習しましょう。
- ☆保体・・知識と技能を結び付けよう。技術の名称を知っているだけで、授業に入りやすくなります。授業プリントの裏は予習のために活用しましょう。また、動画もたくさん見てイメージしましょう。
- ☆技家・・学習したことを日々の生活につなげ、積極的に実践していきましょう。
実習で必要なものは事前にきちんとそろえ、手や爪などは清潔にしておきましょう。
- ☆英語・・大きな声で繰り返し音読練習をし、英語のリズムを積極的に身につけましょう。
新出単語は事前に意味を調べておきましょう。
普段の生活の中から世界の国々の情勢に関心を持ちましょう。

第1学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。	
	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕	
教科書	国語1（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）	
副教材	国語の学習 漢字練習ノート	

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、単元、技能等） ※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・学校で学んだことをワーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	声を届ける/書き留める（書） 朝のリレー 野原はうたう（読）	・音読・発表・ノートの書き方、言葉の調べ方などを理解する。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深める ・表現技法を理解する。
5	シンシユン（読） [聞く] 情報的的確に聞き取る（話・聞） 漢字の組み立てと部首	・心情や行動を表す語句に注意して読む。 ・場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉える。 ・情報の聞き取り方や整理の仕方などを理解する。 ・漢字に興味を持ち、組み立てと部首について理解する。
6	ダイコンは大きな根？（読） ちょっと立ち止まって（読） 言葉のまとまりを考えよう	・本文中で比較がどのように使われているかを確かめる。 ・筆者の主張と事例との関係を理解する。 ・段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 ・文・文節・単語など、言葉の単位について理解する。
7	比喻で広がる言葉の世界（読） 詩の世界（読） 言葉の関係を考えよう	・比喻の表現について理解して、描かれている内容を想像する。 ・比喻について理解し、言葉についての考えを深める。 ・詩を読み味わい、表現の効果について考える。 ・文・文節・単語など、言葉の単位について理解する。
9	大人になれなかった弟たちに……（読） 星の花が降るころに（読） [推敲] 読み手の立場に立つ（書）	・描写を基に登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・比喻の表現について理解して、描かれている内容を想像する。 ・伝えたい事柄が明確に書き表されているか考える。
10	音読を楽しもう 大阿蘇（読） いろは歌	・表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読する。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
11	蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から（読）	・仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通してその世界に親しんだり、登場人物の関係や思いに着目して読んだりする。
12	今に生きる言葉（読） 言葉の関係を考えよう	・漢文を音読し、リズムや言い回しに親しむ。 ・故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考える。 ・文節の働き・文節同士の関係を理解する。
1	少年の日の思い出（読） 「不便」の価値を見つめ直す（読）	・語句の意味に注意して読むとともに、場面の展開や表現の効果、語り手に着目して読み深める。 ・必要な情報を取り出し、結び付けて要約するとともに、それに対する自分の考えをもつ。
2	構成や描写を工夫して書こう（書） 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（読） 単語の性質を見つけよう	・書く内容が明確になるように構成や描写を考えて書く。 ・意見と根拠などの関係を理解し、話し合う。 ・指示する語句と接続する語句について理解する。
3	一年間の学びを振り返ろう（話・聞）（書）	・一年間の学習の中から観点を決め、材料を集めて整理し、自分の考えを分かりやすく伝える。

※書写は、国語科の授業の中で年間20時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。
- ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。

5 教科における道徳教育

- ・表現力と理解力を育成するとともに、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重し合いながら言葉で伝え合う力を高める。
- ・思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、道徳的心情・判断力を身につける。
- ・伝統的な言語文化に親しみ、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する。

第1学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	社会科 中学生の地理 (帝国書院)、新しい社会 歴史 (東京書籍)、地図帳 (帝国書院)
副教材	よくわかる社会の学習 地理Ⅰ、歴史Ⅰ (明治図書)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理】 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【歴史】 我が国の中世までの歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	【地理】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地理】 世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 単純な技能をはかる実技テスト など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 自主勉強ノート、プリントなどの記述 授業中の発言 など	授業中の活動や発言 自主勉強ノート、プリントなどの記述、工夫 パフォーマンス課題などの課題 など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料やこれまでの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら、自分の考えを再構築しましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、資料を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・プリントへは、黒板に書かれたことやスライドに映ったことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・自主勉ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	㊤【世界と日本の地域構成】 (地) 世界の姿	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
5	(地) 日本の姿 ㊤【世界のさまざまな地域】 (地) 人々の生活と環境	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。 ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。また、世界の主な宗教の分布についても理解する。 ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
6	㊤【世界の諸地域】 (地) アジア州 (地) ヨーロッパ州	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地

7	(地) アフリカ州	域的特色を大観し理解する。 ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
9	(地) 北アメリカ州 (地) 南アメリカ州	
10	(地) オセアニア州 ※世界の各国・諸地域の情勢によって、各州の学習順が入れかわることがあります。 ㊦【日本のさまざまな地域】 (地) 身近な地域の調査	・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。 ・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
11	(歴)【歴史へのとびら】 (歴) 歴史をとらえる見方・考え方 (歴) 身近な地域の歴史	・年表の読み取りを通して、年代の表し方や時代区分についての基本的な意味や意義を理解する。 ・身近な地域の歴史について、自ら目標を定め、課題の解決に向けて主体的に学習する態度を身に付ける。
	(歴)【古代までの日本】 (歴) 世界の古代文明と宗教のおこり	・人類が進化してきた過程や、人類の特徴を理解する。 ・古代文明がおこった地域の特徴を考察し、表現する。 ・ギリシャ・ローマの文明が、現在のヨーロッパ文化と深く結びついていることに気付く。 ・古代の宗教のおこりについて、その概略を理解する。
	(歴) 日本列島の誕生と大陸との交流	・縄文時代の人々の生活の様子を、考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。 ・日本の国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとの関わりを通して捉える。 ・様々な資料を通して、日本と中国・朝鮮半島との交流について気付く。
12	(歴) 古代国家の歩みと東アジア世界	・正倉院の宝物や地図から、中国、西アジアやインドなどの影響が見られることに気付く。 ・平安遷都の理由や意義、平安時代初めの政治の特色について理解する。 ・藤原氏が行った摂関政治の特徴について理解する。 ・代表的な事例を通して、国風化した文化の特色を理解する。

1	(歴) 【中世の日本】 (歴) 武士の政権と成立	・武士が次第に勢力を広げたことを、都や地方で起きた戦乱の様子などから理解する。 ・荘園と公領からなる新しい土地制度の広がり、武士の成長との関連を捉える。 ・院政の特色を、摂関政治と比較して理解する。 将軍や執権と御家人の関係に着目して、武家政権の特色を考察し、表現する。 ・鎌倉時代の武士の生活の様子を、絵巻物や文書資料などを通して捉える。 ・代表的な事例を通して、鎌倉時代の文化の特色を理解する。
2		
3	(歴) ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・モンゴル帝国の成立過程や文化について、その特徴を理解する。 ・鎌倉幕府が滅亡した理由を、モンゴルの襲来の影響や社会の変化から考察し、表現する。 ・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ・室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを比較して、その特徴を捉える。 ・琉球や蝦夷地の人々の交流や結び付きを理解する。 ・農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。 ・戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の状況から考察し、表現する。 ・代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。

5. 教科における道徳教育

- ・国際社会における平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、自由・権利と責任・義務との関係を正しく認識することで、権利・義務の主体者として公正に判断しようとする態度や能力などの公民的資質の基礎を養う。
- ・日本の国土と歴史に対する理解を深め、伝統と文化を尊重する態度を養う。
- ・環境問題等を通じ、生命尊重・自然愛護の精神を養う。

第1学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。
	(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕
	(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕
	(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学1（啓林館）
副教材	数学の基本ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。
・定期・小テスト等 ・課題・ノートの内容 ・授業の様子や発言内容	・定期・小テスト等 ・課題・ノートの内容 ・授業の様子や発言内容	・授業の様子や発言内容 ・課題・ノートの内容 ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学校	・これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 ・自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えるようにしましょう。 ・他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 ・ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
	・分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。 ・授業で学習した内容に関連する問題（ワークなど）でしっかりと練習するようにしましょう。 ・定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・正の数・負の数 1 0より小さい数 2 正の数・負の数で量を表すこと 3 絶対値と数の大小	(知) 正の数・負の数の必要性和意味を理解し、数直線上に表したり、読み取ったりすることができる。 (思) 反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表すときの方法を考察し表現することができる。
	・正の数・負の数の計算 1 正の数・負の数の加法、減法 2 正の数・負の数の乗法、除法 3 いろいろな計算 4 数の世界のひろがり	(知) 正の数・負の数の計算の意味を理解し、その計算ができる。 (思) 算数で学習した数の計算と関連付けて、正の数・負の数の計算の方法を考察し表現することができる。
5	・正の数・負の数の利用 1 正の数・負の数の利用	(知) 身近な事象を負の数を用いて表現し、処理することができる。 (思) 身近な事象を数学的に捉え、正の数・負の数を用いて考察し表現することができる。
	・文字を使った式 1 数量を文字で表すこと 2 文字式の表し方 3 式の値	(知) 文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字式の約束に従い数量を文字式に表したり、文字式から数量を読み取ったりすることができる。 ・文字式に数を代入して、式の値を求めることができる。 (思) 文字式での数量の関係の表し方や、式が何を意味しているのかについて考察し表現することができる。また、式の値を求める意味を、具体的な場面と関連づけて考察し表現することができる。
6	・文字式の計算 1 文字式の加法、減法 2 文字式と数の乗法、除法 3 関係を表す式	(知) 一次式の意味を理解し、計算ができる。また、数量の関係を等式や不等号で表したり、意味を読み取ったりすることができる。 (思) 一次式の計算の方法を考察し表現することができる。また、文字式の数量関係の表し方や、式の意味を考察し表現することができる。
	・方程式 1 方程式とその解 2 方程式の解き方 3 比と比例式	(知) 方程式の必要性、文字や解の意味を理解し、文字に数を代入し、その数が解であるかを確かめることができる。また、移項の意味を理解し、方程式を解く方法を理解することができる。 (思) 等式の性質をもとにして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。また、数や文字式の計算と方程式を解く方法の違いについて考察し表現することができる。
7	・方程式の利用 1 方程式の利用 2 比例式の利用	(知) 事象の中の数量やその関係に着目して、方程式や比例式をつくり、その方程式や比例式を解くことができる。 (思) 方程式や比例式を具体的な場面で活用し、求めた解や解決の方法を振り返り、それが適切かどうかを考察し表現することができる。
	・関数 1 関数	(知) 関数の意味について理解し、具体的な事象の中から、ともなって変わる数量を見つけることができる。 (思) 表やグラフを用いて、変化の様子を調べることできる。
9	・比例 1 比例の式 2 座標 3 比例のグラフ	(知) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。 (思) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
	・反比例 1 反比例の式 2 反比例のグラフ	(知) 具体的な事象から、反比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。 (思) 具体的な事象から、反比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
10	・比例、反比例の利用 1 比例、反比例の利用	(知) 比例・反比例の関係を利用して、身のまわりの問題を、文字を使った式を使って表すことができる。 (思) 比例・反比例としてとらえられる二つの数量について、表、式グラフ

		を用いて調べ、それらの変化と対応の特徴を見いだすことができる。
	・直線と図形 1 直線と図形	(知) 直線や角などについて、用語・記号を使って表すことができる。 (思) 平面における2直線の位置関係を見だし、表現することができる。
	・移動と作図 1 図形の移動 2 基本の作図 3 図形の移動と基本の作図の利用	(知) 図形の移動について理解し具体的な場面で、図形の移動と基本的な作図ができる。 (思) 移動の前後の関係から性質や関係を見いだすことができ、基本的な作図の方法を考察し、統合的にとらえ、表現することができる。
12	・円とおうぎ形 1 円とおうぎ形の性質 2 円とおうぎ形の計量	(知) 弧や弦などの円に関する用語を理解し、円の接線を作図することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 (思) 円の接線の性質から円の接線の作図方法を考察し表現することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積、中心角の求め方について考察し表現することができる。
1	・立体と空間図形 1 いろいろな立体 2 空間内の平面と直線 3 立体の構成	(知) 角錐、円錐や多面体の意味と、見取り図、展開図、投影図について理解し、どのような立体を表しているのかを読み取ることができる。 ・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・平面図形や線分の運動によって、どのような立体が構成されるかや、回転体の意味を理解している。 (思) 形や面に着目し、立体の特徴と、見取り図、展開図、投影図を用いて立体の性質を見だし、考察し表現することができる。 ・空間における直線や平面の位置関係について考察し表現することができる。 ・柱体、錐体、球などの立体を、平面図形や線分の運動によって構成されていると捉えることができる。
2	・立体の体積と表面積 1 立体の体積 2 立体の表面積	(知) 立体の体積と表面積の求め方を理解し、求めることができる。 (思) 立体の体積と表面積の求め方について考察し表現することができる。
	・ヒストグラムと相対度数 1 データを活用して、問題を解決しよう 2 整理されたデータから読み取ろう	(知) 目的に応じた資料を収集し、整理することができる。 (思) 整理した資料を読み取り、物事を判断し、説明をすることができる。 ・度数分布表やヒストグラムなどの必要性和意味を理解し、資料の傾向をとらえ、利用することができる。
3	・データにもとづく確率 1 相対度数と確率	(知) 実験などを通して、確率の意味を理解し、身の回りの事象についての確率を求めることができる。 (思) 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

・学習内容の必要性和意味を考えようとしている。
 ・学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
 ・学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

の観点で評価する。

5 教科における道徳教育

道徳の内容項目

・自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。
 ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもち謙虚に他に学び、自らを高めていく。
 などに関連して、日々の学習を進める中で人の意見を聞いたり、教え合ったりする活動で養うことができる。

第1学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス1 (啓林館)
副教材	理科便覧、理科ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・発言内容 ・振り返り（自己・相互評価）	・定期・小テスト等 ・発言内容 ・振り返り（自己・相互評価）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、スケッチブック等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・これまでに学習した内容をいかして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家 庭	・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・学校で学んだことをワークやi プリ等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	自然の中にあふれる生命	・校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだして理解する。 ・観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身につける。 ・いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解する。 ・分類のしかたの基礎を身につけること。 ・身近な生物を観察することで、生物に対する興味・関心を高める。
5	【生命】 いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	・身近な植物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだす。 ・植物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点にもとづいて植物が分類できることを見いだして理解する。 ・植物に対する興味・関心をもち、植物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える。
6		・身近な動物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだす。 ・動物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだして理解する。 ・動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える。
7	【粒子】 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の姿とその変化	・身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べる。 ・物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解する。
9		・ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行う。 ・気体の種類による特性を理解する。 ・気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 ・物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を、粒子のモデルで理解する。
10		・水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。 ・物質の状態変化についての観察・実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。 ・物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知る。 ・混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解する。

11	【エネルギー】 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	・光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。 ・凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きの関係を見いだす。 ・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を約 340m/s の速さで伝わることを、および音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。
12		・物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを見いだす。 ・力は大きさと向きによって表されることを理解する。 ・2力のつり合いの実験を行い、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだし理解する。
1	【地球】 活きている地球 1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	・身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解する。 ・観察器具の基本的な扱い方などを身につける。 ・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解し、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。 ・地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。
2		・さまざまな火山の活動などを調べ、それらの様子はマグマの性質が深く関係していることを考察するとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。
3		・地層の重なり方や広がり方の規則性、構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測する。 ・地層のでき方を理解する。 ・プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的にとらえ、大地からの恵みや災害について理解する。

5 教科における道徳教育

主として自然や崇高なもののかかわりに関すること（1）自然を愛し美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力をこえたものに対する畏敬の念を深める。（2）生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重すると関連させ、自然への理解を深める学習や活動、科学的な見方や考え方を通して、「植物のくらしとなかま」「活きている地球」の単元においては自然を愛する心や真理を探究する態度を養い、「光・音・力による現象」「身のまわりの物質」の単元においては、広い視野を持ち新しい発見を素直に喜べる豊かな心情を育てる。

第1学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
教科書	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)
副教材等	

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト(演奏・聴き取り等) ・ワークシート等への記述内容 ・作品やレポート - など		

3 学習についてのアドバイス

学 校	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲者や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けましょう。 ・興味をもった曲の作曲者、音楽の特徴やその背景となる文化や歴史を自分で調べてみましょう。

4 題材・目標等について

月	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。	・ 思いを込めて明るい声で歌おう。 ・ 作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。	We'll Find The Way 校歌 My Voice!
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。	・ 情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。	浜辺の歌（共通教材）
	音楽の特徴に注目しながら情景を思い浮かべよう	・ 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	春
	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	・ イメージをもたらし音楽の秘密を探ろう。 ・ 構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	Let's Create!
	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・ パートの役割を感じ取って合唱しよう。 ・ 曲想を生かして合唱しよう。 ・ いろいろな合唱曲を聴こう	朝の風に 君をのせて
2 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・ パートの役割を感じ取って合唱しよう。 ・ 曲想を生かして合唱しよう。	合唱発表会の曲
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・ 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。	魔王
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	・ 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。	リズムゲーム、リズムアンサンブル、My Melody
	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	・ 人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。・ アジア各地の音楽を聴こう。 ・ 声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。	日本の民謡 生活や社会の中の音楽 アジアの諸民族の音楽 ソーラン節
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・ 情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 ・ 情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。	赤とんぼ（共通教材） 歌い継ごう 日本の歌
3 学 期	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	・ 日本に古くから伝わる合奏を聴こう。	雅楽「平調 越天楽」
	日本の楽器 箏 尺八の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	・ 日本に古くから伝わる箏や尺八の音楽を聴いたり、演奏したりしよう。 ・ 日本の音階を使って旋律をつくろう。	箏曲「六段の調」 さくらさくら（箏） 尺八曲「巢鶴鈴慕」
	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・ 曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	卒業式 式歌 国歌「君が代」・校歌

5 教科における道徳教育

- ・ 音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を養い、自然や崇高なものを尊重する態度を育てる。
- ・ 音楽的活動による豊かな情操を養い、音楽的文化についての理解を深め、日本の伝統の継承と新しい文化の創造につとめる。

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
	(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
	(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術1(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト - パフォーマンス課題	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - パフォーマンス課題

3 学習についてのアドバイス

学校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題(自分の表したいこと)をもって制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを友達とじっくり話し合ひましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。
家庭	

4 主な題材・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	○オリエンテーション ・美術との出会い ・中学校美術の世界へようこそ ・この教科書で学ぶみなさんへ ○色について ・色彩の基本・仕組み ○見つめると見えてくるもの（絵画、塑像） ・鉛筆で描く／粘土でつくる ○鑑賞との出会い（鑑賞） 見方や感じ方を広げよう ・美のタイムトラベル	・美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。 ・色相環など、色の基本や仕組みを理解する。 身近なもの（玉ねぎ）を見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵と粘土で表現する。 ・基本の形や特徴を捉えて描き、明暗・立体感を表現する。 ・身近なものや愛着のあるものをよく見たり、触ったりして特徴を捉え、主題を生み出す。 ・主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ・鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 形や色彩、模様、材料や場所に着目し、原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。
2 学期	○文字って面白い（デザイン） ・文字の基本 ・文字絵 ・名前のレタリング ○絵の中をよく見ると（鑑賞）	イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。 ・レタリングの基本となる明朝体やゴシック体の描き方を理解する。 ・身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ・文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 構図、色彩や人物の表情や視線などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 ・描かれている人や事物、構図や色使いから絵の中でどのような会話が交わされているかを考える。 ・作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う。
3 学期	○広がる紋の世界（デザイン）	目的や条件などを基に、自然物や人工物などの形や色彩の特徴を捉えて、構成を工夫してデザインする。 ・目的や条件を基に、自然物や人工物などの形や色彩の特徴の美しさから主題を生み出す。 ・スケッチなどにより形や色彩の特徴を捉え、単純化や強調をするなどして構成を考える。 ・効果を考えながら彩色する。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について考えを深める。

5 教科における道徳教育

- ・創造的活動に喜びを感じ、豊かな情操を養う。
- ・他者と自己との表現の違いに気づき、互いに認め合う心を養う。

第1学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、傷害にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。 【体育分野】 (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 【保健分野】 (1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
	教科書 最新 中学校保健体育（大修館書店） 副教材等 中学体育実技 2023（Gakken）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 - 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解している。 - 各領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	- 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 - 個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	- 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 - 自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。
- 授業の様子や発言内容 - 振り返りフォームの記述 - 定期テスト等 - 実技テスト	- 授業の様子や発言内容 - 振り返りフォームの記述 - 課題解決学習	- 授業の様子や発言内容 - 振り返りフォームの記述

3 学習についてのアドバイス

学校	- 学習課題等を捉え、自分なりの課題をもち、その解決に向け工夫して取り組みましょう。 - 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 - どの学習活動も粘り強く取り組みましょう。 - 学習カードなどは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 - ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
	- 授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 - 授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
1 学 期	○体づくり運動・ 体育に関する知識 ・集団行動と体ほぐし 運動 ・体力を高める運動 ・新体力テスト	・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合う。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間が考えたことを伝える。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習を援助しようとする。 ・健康・安全に気を配ることができる。
	陸上競技 ・短距離走・リレー	・【短距離走・リレー】滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ったりしている。
	水泳	・クロール、平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配る。
	健康の成り立ちと疾病 の発生要因・生活習慣 と健康	・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について理解する。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	体育理論	・運動やスポーツが多様であることについて、理解する。 ・運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 ・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組む。
2 学 期	ダンス (体育祭の取り組み)	・【現代的なリズムのダンス】リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。
	球技 ・ネット型 (バレーボール)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、友達のプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	器械運動 ・マット運動	・回転系や功技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行ったり、それらを組み合わせたりすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、よい演技を認めること、仲間を援助すること、仲間の課題に応じた課題や挑戦を認めることなどや、健康・安全に気を配る。

3 学 期	武道 ・柔道	・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、友達の問題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る。
	心身の機能の発達	・心身の機能について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすることができる。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	陸上競技 ・長距離走	・ペースを守って走ることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	球技 ・ゴール型 (バスケットボール)	・ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、友達のプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	ダンス	・【創作ダンス】多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊る。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。
	心の健康	・心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすることができる。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	体づくり運動	・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めたり、それらを組み合わせたりする。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組む方を工夫するとともに、自分や仲間が考えたことを伝える。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを認め、話し合いに参加しようとする。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

5 教科における道徳教育

- ・学習活動の中で繰り返し行われる集団活動や球技への取り組みを通して、仲間と協力しながら自己の責任を果たし、粘り強くやり遂げる態度を育てる。
- ・健康・安全についての理解を深め、互いに支えあうだけでなく、ルールを守り公正な態度で活動する態度を育てる。

第1学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）
副教材	技術ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期、小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）	・定期、小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）	・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家 庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・学習した内容を日常生活にリンクさせ、活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
10	・情報についての基礎的・基本的な知識・技能	・情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則の理解・情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術の仕組みの理解することができる。
11	・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みの理解することができる。
12		・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等を行うことができる。
1	・計測・制御のプログラミングによる問題解決	・情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決することができる。
2		
3	・社会の発展と情報の技術	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。

5 教科における道徳教育

- ・技能の修得を通して、興味関心をたかめ、身近な問題を解決する態度を養う。
- ・生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得することで、望ましい生活習慣を身に付けるとともに、勤労の尊さや意義を理解させる。
- ・進んで生活を工夫し創造しようとする態度を育てることで、家族への敬愛の念を深めるとともに、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考え、生活をよりよくしようとする意識を育てる。

第1学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
副教材	技術・家庭ノート 衣食住の生活（食生活）家庭 B（新学社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期テスト ・パフォーマンス（技能）テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等	主な学習目標
1	家庭分野ガイダンス	・ワークシートや話し合いによって、これまでの自分を振り返る。 ・家庭科の学習が生活の自立や持続可能な社会の形成につながることに気づく。
2	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族	・自分の成長と、家族や地域の人びとのかかわりと、自分自身の理解を深める。 ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。
2	1 食事の役割と食習	・食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもつ。 ・健康によい食習慣について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。
4	B 衣食住の生活（食生活） 2 中学生に必要な栄養を満たす食事	・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ・食品は、栄養的特質により、食品群に分類させることを、理解する。 ・1回の食事を目で見えて栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。
5	3 さまざまな食品とその保存	・生鮮食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて生鮮食品を確かな目で選択・保存できる。 ・加工食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて加工食品を選択できる。 ・食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できるようにする。
13	4 日常食の調理	・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し、実践できるようにする。 ・肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、魚を調理することができる。 ・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。
8	5 地域の食文化	・地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。 ・各食品群の食品を組み合わせ、栄養バランスのとれた1日分の献立を考えることができる。 ・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。

5. 教科における道徳教育

- ・生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに、家庭生活上で実践しようとする態度を育てる。
- ・家庭生活を大切にしている心情を育み、家庭の一員としての役割を果たせるようにつとめる。

第1学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 1
副教材	新英語のワーク（明治図書）

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと (やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・間違うことを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的にALTの先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
--------	--

家庭	・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。
	・教科書の本文を、何度も音読しましょう。
	・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。
	・予習として、単語調べをしておきましょう。
	・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	Let's Be Friends!	・お互いの気持ちをたずね合ったり、会話を聞いて場面を考えたりすることができる。 ・好きな色、行きたい国、誕生日について聞き取ったり、話したり書いたりすることができる。 ・数を表す言葉を読んだり聞いたり言ったりすることができる。 ・アルファベットの大文字と小文字を聞いて書き取ることができる。 ・音とつづりの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりすることができる。
	Unit 1 Here We Go!	・会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。
5	Daily Life 1 国際郵便	・海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。
	Unit 2 Club Activities	・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。
6	Unit 3 Enjoy the Summer	・インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 ・夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。
	World Tour 1 世界の中学生	・世界の挨拶や、中学生の生活の様子を知ることができる。
7	Active Grammar 1 am、 are／一般動詞／can	・自分と相手のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	You Can Do It! 1 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	・6人の中学生のプロフィールを読んで、共通点・相違点を見つけることができる。 ・自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つけることができる。
9	Unit 4 Our New Friend	・人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 ・身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。
10	Unit 5 This Is Our School	・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。

	Daily Life 2 落とし物	・落とし物の持ち主を探すやり取りができる。
	Active Grammar 2 代名詞	・代名詞の使い方を理解することができる。
11	Unit 6 Cheer Up、 Tina	・紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 ・身近な人の基本的な情報を伝える紹介文を書くことができる。
11	Active Grammar 3 is / 3 人称単数現在形	・自分と相手以外のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	Daily Life 3 カフェ	・飲食店で注文するやり取りができる。
12	World Tour 2 世界の時刻	・日本と世界の時差について知ることができる。
	Active Grammar 4 疑問詞	・疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解し、使うことができる。
	Let's Read 1 What Am I?	・説明文から” I ” についての情報を読み取ることができる。
	You Can Do It! 2 「ドリームファミリー」を紹介しよう	・「ドリームファミリー」の紹介から、家族の情報を聞き取ることができる。 ・グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる。
1	Unit 7 New Year Holidays in Japan	・はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・冬休みの出来事や感想などを伝えるはがきを書くことができる。
2	Active Grammar 5 動詞の過去形	・一般動詞と be 動詞の過去形について理解し、使うことができる。
	Daily Life 4 ウェブサイト	・ウェブサイトから必要な情報を読み取ることができる。
	Unit 8 Getting Ready for the Party	・写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 ・写真に状況を説明するキャプションを書くことができる。
	Active Grammar 6 現在進行形	・現在進行形について理解し、使うことができる。
	Daily Life 5 ラジオの中継	・ラジオの中継から現地の様子を聞き取ることができる。
3	Let's Read 2 The Lion and the Mouse	・物語からあらすじを読み取ることができる。
	You Can Do It! 3 学校行事の紹介ページを作ろう	・学校紹介のウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。 ・グループで学校行事の紹介ページを作ることができる。
	Let's Read more My Japanese Lessons	・まとまった分量の英文の概要を読み取り、感想や意見をもつことができる。

5 教科における道徳教育

- ・ 自国や世界の国々の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高めこれらをお互いに尊重する態度を育てる。
- ・ 広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神を養う。

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標

学年	スタンプ	Listening	Speaking		Reading	Writing
			やりとり	発表		
3	6	話し手に聞き返したり、質問したりできるよう、内容を確認しながら聞くことができる。	Unit8 (ブレゼンの感想を伝えよう) Unit8 (鳥獣図鑑クイズ)	Unit7 (今の自分を伝えるスピーチ) You Can Do It! ② (学校に必要なもの)	Unit8 (大切な人への手紙)	身近なチームについて、自分の考えや気持ちなどを話してみよう。また、自分の考えや気持ちを相手に伝えることができるように、まとまりのある文章を書くことができる。
	5	ゆっくり、はっきりと話されれば、まとまりのある少し長い英語の文(会話や音読等)を聞いて、その大まかな内容や話し手が伝えたい情報を聞き取るにできる。	Unit8 (おすめの場所) Daily Life3 (電話のやりとり)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ) Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	身近な人や写真、事物について文のつながりや文章の構成を認識して、まとまりのある文章を書くことができる。
	4	何度か聞くことができれば、自分にとって必要な情報を聞き取るにできる。	Daily Life1 (デイズカレッジ) Unit8 (防犯ハック) World Tour1 (地球の歩き方) Daily Life4 (ニュース)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ) Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)
2	6	ゆっくり、はっきりと話されれば、まとまりのある少し長い英語の文(会話や音読等)を聞いて、その大まかな内容や話し手が伝えたい情報を聞き取るにできる。	Unit8 (おすめの場所) Daily Life3 (電話のやりとり)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ) Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	身近な人や写真、事物について文のつながりや文章の構成を認識して、まとまりのある文章を書くことができる。
	5	何度か聞くことができれば、自分にとって必要な情報を聞き取るにできる。	Daily Life1 (デイズカレッジ) Unit8 (防犯ハック) World Tour1 (地球の歩き方) Daily Life4 (ニュース)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ) Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	身近な人や写真、事物について文のつながりや文章の構成を認識して、まとまりのある文章を書くことができる。
	4	何度か聞くことができれば、自分にとって必要な情報を聞き取るにできる。	Daily Life1 (デイズカレッジ) Unit8 (防犯ハック) World Tour1 (地球の歩き方) Daily Life4 (ニュース)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ) Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	身近な人や写真、事物について文のつながりや文章の構成を認識して、まとまりのある文章を書くことができる。
1	6	話し手に聞き返したり、質問したりできるよう、内容を確認しながら聞くことができる。	Unit8 (ブレゼンの感想を伝えよう) Unit8 (鳥獣図鑑クイズ)	Unit7 (今の自分を伝えるスピーチ) You Can Do It! ② (学校に必要なもの)	Unit8 (大切な人への手紙)	身近なチームについて、自分の考えや気持ちを話してみよう。また、自分の考えや気持ちを相手に伝えることができるように、まとまりのある文章を書くことができる。
	5	ゆっくり、はっきりと話されれば、まとまりのある少し長い英語の文(会話や音読等)を聞いて、その大まかな内容や話し手が伝えたい情報を聞き取るにできる。	Unit8 (おすめの場所) Daily Life3 (電話のやりとり)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ) Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	身近な人や写真、事物について文のつながりや文章の構成を認識して、まとまりのある文章を書くことができる。
	4	何度か聞くことができれば、自分にとって必要な情報を聞き取るにできる。	Daily Life1 (デイズカレッジ) Unit8 (防犯ハック) World Tour1 (地球の歩き方) Daily Life4 (ニュース)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ) Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	Unit8 (自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ)	身近な人や写真、事物について文のつながりや文章の構成を認識して、まとまりのある文章を書くことができる。

